

募集要項

1. 目的

“原子炉”を実際に視て、触れて、運転し、さらに、放射線にかかわる基礎的実験等を体験することによって、原子力・放射線について知識を習得し、教育に役立てていただくことを目的としています。

2. 実施日

- ① 2026年7月23日(木)～7月24日(金)
- ② 2026年7月28日(火)～7月29日(水)

※研修会で撮影した写真を外部の研修会報告書等に使用させていただきます。予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

3. 実施場所

近畿大学 原子力研究所

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3丁目4番1号

アクセス：<https://www.kindai.ac.jp/access/>

4. 対象者

中学・高等学校および高等専門学校教員（主に、授業で放射線について教える理科、技術、家庭科教員）

※原子炉施設立入りの際、写真付きで本人確認ができる証明書（運転免許証、マイナンバーカード、パスポート、職員証などいずれか1点）の原本を提示していただきます。

5. 受講料等

受講料は2000円。交通費は当講習会基準に基づいて補助します。

2回の昼食、宿泊*は当方で用意し、費用は負担します。

※宿泊は原則として研修初日の1泊のみとしますが、前泊が必要な方はご相談ください。

6. アンケート・感想文のご提出について

アンケート（研修前後）ならびに感想文のご提出をお願いします。

7. お申込み方法・お申込み締切・定員等

【お申込み方法】

参加申込書に必要事項を記入し、FAXまたは、参加申込フォーム

(<https://forms.gle/JAtxTP5QbwZgX7m47>)

より必要事項をご入力いただきお申込みください。

【お申込み締切】2026年6月17日(水)必着

【定員】各回最大16名（既参加者には参加をご遠慮いただく場合がございます。）

【参加通知】6月下旬にメールにて個別にお知らせします。

参加申込フォーム



8. お問い合わせ先

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3丁目4番1号

近畿大学 原子力研究所（事務室）TEL：06-4307-3095 FAX：06-6721-3743

メールアドレス：genken@itp.kindai.ac.jp

HP：<https://www.kindai.ac.jp/rd/research-center/aeri/>

お願い 貴学内の教員の皆さんへの周知・紹介についてもご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

2026年度 中学・高校教員のための 原子炉実験・研修会



2日間コース（1泊2日）
各回最大16名

スケジュール

	1日目		2日目
10:30	開会挨拶・スケジュール説明・注意事項説明・自己紹介	9:30	【講義】保安教育 放射線管理区域への立ち入りにあたって必要な注意事項について学ぶ。
10:45	【講義】放射線の基礎 放射線の種類・性質・単位・測定の原理など、放射線科学の基礎を学ぶ。	10:10	【見学】原子炉見学 近畿大学原子炉施設を見学し、特長や安全性、発電用原子炉との違いを学ぶ。
11:45	昼食	11:20	【講義】原子炉の基礎 臨界や連鎖反応など原子炉の基礎知識を学び、原子炉のしくみを理解する。
12:35	【実習】霧箱の製作 簡単な工作によって霧箱を作り、目で見ることのできない放射線の飛跡を観察する。	12:20	昼食
13:45	【講義】放射線の利用 工業・医療・農業等の様々な分野で利用されている放射線について学ぶ。	13:10	【実習】原子炉運転 実際に原子炉を運転し、原子炉の出力を制御する制御棒の役割など体験を通じて理解する。また運転中の原子炉周辺の放射線量を測定する。
14:55	【実習】放射線の測定 放射線測定器を使って、線源からの距離と線量の関係、遮へい材の効果などを測定し、実験を通じて放射線の性質を学ぶ。また、環境放射線を測定し、天然の放射性物質について学ぶ。	15:20	【実習】中性子ラジオグラフィ 原子炉からの中性子線を使って様々な被写体の透視画像を撮影する。さらに同じ被写体をX線でも撮影して画像を比較する。
16:35	【講義】放射線の健康影響 放射線の生物影響のしくみと健康リスクについて、放射線生物学の基礎から理解する。	16:20	質疑応答・アンケート記入・修了式
17:35	質疑応答・自由討論・意見交換	16:50	2日目終了
18:00	1日目終了		

*カリキュラムは標準的なものです。講師の都合などにより内容・時間等変更する場合があります。